

LEICA 新世代イメージング法 セミナーのご案内

- 1) Laser Scan Imaging TCS SP8 Series
- 2) Widefield Digital-Opt Imaging THUNDER

Laser Scan Imaging TCS SP8 Series

Confocal Laser Scan Microscope
TCS SP8

Fluorescence
Lifetime Imaging
FALCON

TCS SP8 FALCONは、従来の蛍光観察に加え蛍光寿命の情報を追加観察することができるようになりました。蛍光寿命は蛍光物質ごとに異なる値を持ちその蛍光分子がおかれている環境によっても変化します。 蛍光寿命情報の利用は、蛍光色素濃度差に影響されない機能イメージング (**pH, Ca²⁺** など) や**FRET**、そして近接波長色素の**Dye Separation**などにとても有効です。

Computational
Super Resolution
LIGHTNING

TCS SP8 LIGHTNINGはライカ独自開発のDecision Mask法を採用したデコンボリューションによる**超解像共焦点イメージング法**です。演算は画像取得中に開始され、その演算パラメーターは画像のエリアごとのSN比に応じて自動決定されます。連続断層画像取得完了後、速やかに超解像共焦点画像を表示することが可能です。

Light Sheet
Imaging
DLS

TCS SP8 DLSは倒立型共焦点レーザー顕微鏡でライトシートイメージングを可能にした唯一の市販**ライトシート顕微鏡**です。 ライトシートイメージング法は大きなボリュームを高速かつ低ダメージで観察することができ、特にDLSではガラスボトムディッシュで観察可能です。TCS SP8が本来備える機能である光を使った刺激などもコンビネーションで利用可能です。

Widefield Digital-Opt Imaging THUNDER

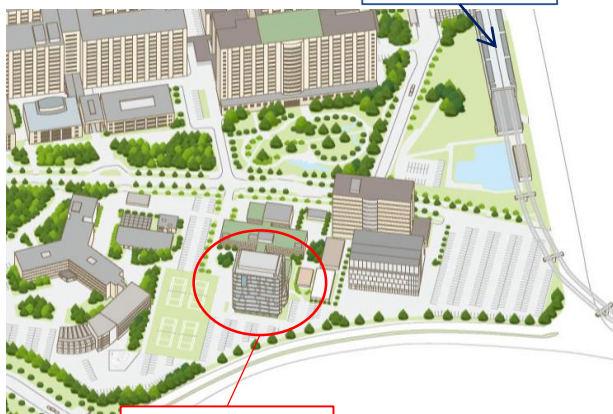
Computational
Clearing
Technology
THUNDER

THUNDERはライカ先進の光学顕微鏡技術とデジタル技術とを高度に融合させた蛍光イメージングソリューションです。 高感度カメラによって検出される蛍光シグナルからIn Focusシグナルだけを演算により抽出する技術を開発し、**デジタルピンホール**のような作用を得ることができます。 この演算はきわめて高速に実行され、これまでのWideField蛍光イメージングを大きく発展させることができます。 倒立蛍光顕微鏡、正立蛍光顕微鏡、そして蛍光実体顕微鏡がラインナップされています。

- ◆日時：2019年 7月12日(金) 14時 ～ (90分程度)
- ◆場所：大阪大学大学院生命機能研究科
生命システム棟 2階 セミナー室
- ◆言語：日本語
- ◆演者：伊集院敏 【ライカマイクロシステムズ株式会社】
- ◆参加申込：不要

セミナーでご紹介する機器は8月26～29日開催予定のワークショップにてテストしていただくことができます。
要事前申込・詳細はセミナー会場にて

大阪モノレール
阪大病院前



お問い合わせ：

ライカマイクロシステムズ株式会社
伊集院敏

satoshi.i.juin@leica-microsystems.co.jp

TEL: 03-6758-5640

Leica
MICROSYSTEMS